

令和5年9月21日（木曜日）

予算決算委員会総務分科会

第1委員会室

出席委員

三和 衛、妻鹿幸二、有馬剛朗、宮下和也、
常盤真功、石堂大輔、竹中由佳、坂本 学、
谷川真由美

【総務委員会（総務局）の審査】

再開 11時48分

総務局 11時48分

送付議案説明

- ・議案第102号 令和4年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 11時54分

（質問）

職員研修経費の中で、派遣研修としてオンラインによる実施が増加していると説明があったが、最近実施された研修全般にみられる傾向であるのか。

また、このようなスタイルで行われる研修の効果等について、見解を聞かせてもらいたい。

（答弁）

令和4年度に実施した派遣研修では、全264件のうちオンラインによるものが90件であった。

現地視察を伴う必要がある場合など、研修内容によって各所属で実施会場に参加するか、自席や会議室などからオンラインで参加するかを判断している。

オンライン研修の実施は経費削減等の面からも、主催者・参加者の双方にメリットがあることから、近年は採用が増えてきているものと考えられる。

また、オンライン研修においても一定の効果が得られるように工夫が施されていることから、習熟度において特段の差は生じないものと判断している。

（要望）

研修の実施においては、十分な効果を確保した上で経費削減に努めるとともに、オンライン研修の受講に当たっては、充実した環境づくりを進められたい。

総務局終了 11時57分

休憩 11時57分

再開 12時55分

【総務委員会（財政局）の審査】

財政局 13時43分

送付議案説明

- ・議案第102号 令和4年度姫路市一般会計決算認定について
- ・議案第109号 令和4年度姫路市財政健全化調整特別会計決算認定について
- ・議案第113号 令和5年度姫路市一般会計補正予算（第3回）

質疑 13時57分

（質問）

ふるさと納税の関係で、総務局のアクションプランにおける目標の2億円を達成しているが、姫路市では収入額よりも支出額の方が多くなっている。

本来この制度がなければ収入されていた市民税額は、令和4年度の決算ベースでどれぐらいであったのか。

（答弁）

令和4年度の実収入額は、約2億2,898万円、これに伴う減収額は、約15億4,518万円である。地方交付税で減収額の75%が補填されるので、その補填額が約11億5,889万円。減収額から国の補填額を差し引くと、実質の減収額は約3億8,629万円である。

（質問）

ふるさと納税制度には矛盾を感じる。

小さい自治体などは支出よりも収入の方が多いかもかもしれないが、大きな自治体ほど支出の方が大きくなる。

財政局の職員が一番矛盾を感じているのではないかと思うが、見解を聞かせてほしい。

（答弁）

ふるさと納税は国の制度であり、何とも言い難い。

大都市ほど支出が大きいという話であるが、結局、姫路市民の行動によって他の自治体に寄附をされた結果として現状があり、市の税金の支出につながっている。

制度の是非について、財政局のほうで言及するこ

とは差し控えたい。

ふるさと納税推進についてはひめじ創生戦略室が所管しており、そちらの動向を見守りたい。

(質問)

モノレールの鉄橋で実施設計や撤去工事にかなり費用がかかっているが、全部撤去が完了したのか。

(答弁)

令和 4 年度に実施したモノレール関連の工事については、橋げたを約 40 メートル撤去したほか、橋脚 1 本を撤去している。

橋げたの残存部分は 131 メートルで、進捗率は約 93%、橋脚部分は 22 本残っており、進捗率は 74% である。

(質問)

今後、撤去にどれぐらいの期間がかかると見込んでいるのか。

(答弁)

残存エリアである駅西周辺は橋脚と住宅がほぼ一体化しており、工期に関しては、住宅の一時退避と合わせて橋脚の撤去を考える必要があるが、現時点で具体的な時期を示せるまでには至っていない。

(質問)

モノレールについては、多額の費用がかかり大変だと思うが、駅西部の住宅と一体化した橋脚の老朽化により住宅に危険を及ぼす心配はないのか。

(答弁)

モノレールの危険性については、残存箇所全体について定期点検を行う中で、できる限りの安全確認を実施している。

財政局終了 14時05分

選挙管理委員会事務局 14時07分

送付議案説明

・議案第 102 号 令和 4 年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 14時12分

(質問)

令和 4 年度は参議院選挙のほか、県議会、市議会、市長と統一地方選挙の準備が続くなど大変忙しかったかと思う。

昨年度、年間の時間外勤務が 720 時間を超える職

員が、全庁内で 13 人であり、そのうち 1 人が選挙管理委員会事務局の 823 時間となっていた。

選挙時には臨時的に必要な職員を確保されていることは承知するが、今後いつ解散総選挙があるか分からない。

人員の確保に向けてしっかり準備されているのか、状況を説明してもらいたい。

(答弁)

人員の確保については選挙前から人事当局とも協議を重ね、要望を行っている。

参院選や市が独自に執行する県議選、市長・市議選となると、準備期間が長く、業務量も増えてくるため、今後も引き続き人事当局と協議を重ね、事務分担も適宜改めながら、1 人当たりの時間外勤務時間を減らしていきたい。

(質問)

市議選の時、ポスター掲示が突風で何か所か倒れていたが、市民への安全の面からも見回りは必要かと思う。

設置方法は適切であったのか。

(答弁)

ポスターの掲示に関しては、突風に耐えられるように設置するという事で仕様を作成しているが、幾つかパネルが外れた箇所もあった。

市議選の場合は大きな面積になるため、安全確保の面から単管を組んで設置している。指摘されたものについては、市民の安全にも関わることであり、時間を問わず迅速に対応した。

今後も引き続き注意を重ね、業者とも相談しながら、適切な設置に努めたい。

選挙管理委員会事務局終了 14時18分

【総務委員会（選挙管理委員会事務局）の審査】

監査事務局 14時19分

送付議案説明

・議案第 102 号 令和 4 年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 14時22分

質問なし

監査事務局終了 14時22分

【総務委員会（監査事務局）の審査】

公平委員会事務局 14時23分

送付議案説明

- ・議案第102号 令和4年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 14時24分

（質問）

昨年度、公平委員会は何回開催されたのか。また、その内容はこういったものなのか。

（答弁）

月に1度定例会を開催しており、定例会は合計12回開催している。

また、姫路市が当番となり研修会を12月に1回開催し、分限処分や懲戒処分について講師の方に講義していただいた。

定例会については、職員からの苦情相談があり、離職された方の離職時の相談に応じ、相談者や当局とも調整しながら、相談業務を行った。

（質問）

職員の申立てで開催をしたということはないのか。

（答弁）

そのとおりである。

公平委員会事務局終了 14時26分

【総務委員会（公平委員会事務局）の審査】

議会事務局 14時27分

送付議案説明

- ・議案第102号 令和4年度姫路市一般会計決算認定について

質疑 14時33分

（質問）

タブレットを使用した際の通信費について、令和4年度の実績でデータ容量を超えているものはあったのか。

（答弁）

データ容量は総キロバイト数が150ギガバイトあり、この枠内には収まっている。

Wi-Fiを使った本会議や委員会での利用が多く、実際にはその総枠数の大体約3割、最近では2割程度の範囲で収まっている状況である。

（質問）

150ギガバイトの上限を契約上抑えることはできなかったのか。

（答弁）

実際にWi-Fiを使わずセルラーで使った場合の総量で大体150ギガバイトと想定している。

皆さんにWi-Fiを使ってもらったおかげで、現状はこうなっている。

一部では、まだ回線状況が良くないといった声も聞いており、その場合はセルラーでの利用により対応していただきたい。

議会事務局終了 14時34分

【総務委員会（議会事務局）の審査】

【総務委員会（総務局）の審査（再開）】

【総務委員会意見取りまとめ】

意見取りまとめ 15時36分

- ・分科会長報告について

正副分科会長に一任することに決定。

意見取りまとめ終了 15時37分

閉会 15時37分

【総務委員会の協議】